

凡例

	指定緊急避難場所
	指定避難場所
	福祉避難所
	警察署
	医療機関
	消防署
	町役場
	国道
	県道
	標高
	最大津波高
	浸水開始時刻
	浸水の深さ
	0 ~ 0.3m未満
	0.3 ~ 0.5m未満
	0.5 ~ 1.0m未満
	1.0 ~ 3.0m未満
	3.0 ~ 5.0m未満
	5.0m以上
	平成24年度県独自想定結果

マップの活用方法

おい町では、住民の皆様へ津波に関する情報を提供し、事前の備えに役立てていただくことを目的に、「おい町津波ハザードマップ」を作成しました。災害に対しては日頃からの備えが重要です。各家庭で次のようなことを確認し、避難場所や避難経路等は避難マップに記入しておきましょう。

- 1 自宅周辺の災害の程度
- 2 地震発生時に行く避難場所
- 3 避難場所までの経路
- 4 避難路上にある危険箇所

津波について

海底で地震が発生すると、津波が発生することがあります。

発生原因

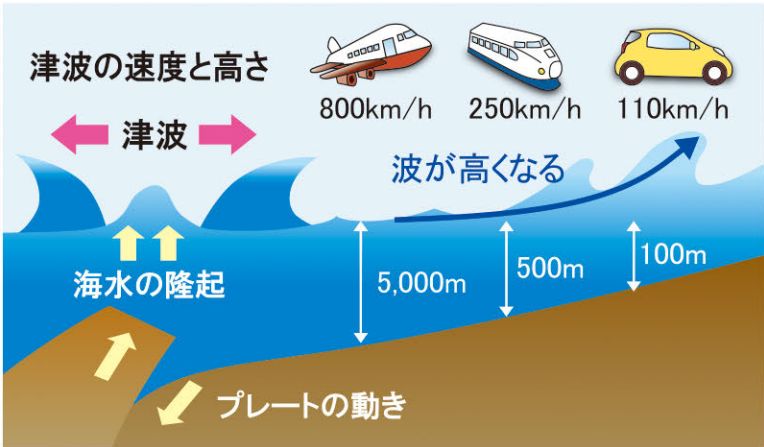
海底の地震など

現象

スピードの速い大きな波が繰り返し来襲し、浸水被害が起こる

注意すべき点

- 河川を遡上し、沿川地域に被害をもたらす
- 破壊力があり建物などを破壊する
- 地震が起きてから短時間で来襲する
- 地震による建物倒壊や土砂崩れにより避難が困難になることがある



津波ハザードマップについて

津波ハザードマップに示す津波浸水深は、福井県が令和2年に公表した津波浸水想定図によるものであり、計算条件は以下に示すとおりです。

- 国が示した日本海側統一の津波断層モデルおよび計算手法(今回は福井県独自のもの)
- 最大クラスの津波が悪条件下(朔望平均満潮位や護岸等の破壊など)において発生した場合を想定

津波浸水想定区域や浸水深は、地震による地形条件の変状等による影響により、浸水域外でも浸水が発生したり、浸水深がさらに大きくなる場合がありますので、注意してください。

津波から身を守るために

強い地震や長い時間の揺れを感じたら…

津波警報が発表されたら…

◎ ただちに海岸から離れ、高台などの安全な場所に避難する

津波注意報が発表されたら… (揺れを感じない場合も)

- ◎ 正しい情報をテレビ、ラジオで入手する
- ◎ 海水浴や磯釣りなどはただちに中止する
- ◎ 津波は繰り返し襲ってくるので、警報、注意報が解除されるまで海岸に近づかない

マップ 1

基準を二重にしてください。



マップ 2

基準を二重にしてください。



非常持ち出し品について

いざというときには、ただちに避難しなければなりません。そのようなときに備えて、非常持ち出し品を常備しておきましょう。両手が自由に使えるようにリュックサックなどにまとめて、いつでも持ち出せる場所に保管しましょう。

食品・水 <input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> 乾パン・レトルト食品・缶詰など保存性のある食品類	救急医薬品 <input type="checkbox"/> 救急医薬品 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 衛生用品	貴重品 <input type="checkbox"/> 現金(小銭) <input type="checkbox"/> 預貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> 免許証 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 年金手帳 <input type="checkbox"/> クレジットカード類 <input type="checkbox"/> 権利証書
応急活動用品 <input type="checkbox"/> ポリ袋(ビニール袋)・新聞紙 <input type="checkbox"/> ろうそく、ライター <input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 予備の電池 <input type="checkbox"/> 筆記用具	衣類など <input type="checkbox"/> 衣類 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手	その他 <input type="checkbox"/> ヘルメット(防災ずきん) <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・石けん <input type="checkbox"/> ほ乳びん <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> メガネ <input type="checkbox"/> 杖(長い棒) <input type="checkbox"/> 防災マップ

津波の心得5か条

- 地震が起きたら、まず避難**
強い地震(震度4程度以上)を感じたときは弱い地震でも長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海岸から離れ、高台等安全なところに避難すること。
- 津波は繰り返し来襲します**
津波は繰り返し来襲するので、津波警報・注意報が解除されるまでは避難したところにとどまること。
- 情報を待っている、逃げ遅れます**
テレビ・ラジオ等の情報を待っていると避難に間に合わないことがあるので、まず安全なところに避難してから情報を確認するように心掛けること。
- 家族で話し合っておきましょう**
日頃から、津波が発生した場合の避難所や避難経路、非常時の連絡方法などについて、家族で話し合い、前もって決めておくこと。
- 津波は引き潮から始まるとは限りません**
津波の前に引き潮があるとは限らないので、津波が来るかどうかの確認をするために海岸に出ることはやめて、直ちに避難すること。